令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人福井県文化振興事業団
施設名	福井県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）
内定額	6,250　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型(公演・人材・普及)が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
人-01	越のルビーアーティストバンク＆若い芽コンサート　公開オーディション	1月25日	福井県立音楽堂
人-02	若い芽コンサート2025	8月10日	福井県立音楽堂
人-03	未来の音楽人材育成事業 中高生のための音楽基礎講座「ハーモニーアカデミー」	5月5日から	福井県立音楽堂
人-04	福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー	5月3日から	福井県立音楽堂ほか
普-01	乳幼児のための音楽体験機会拡充事業　秋の子ども音楽会 「ステージで見て、聴いて、踊っちゃおう♪みんなあつまれ！ ミュージックパーティー」	10月5日	福井県立音楽堂
普-02	中学生のための芸術体験機会拡充事業「出張音楽堂」	6月24日ほか	県内中学校、支援校
普-03	共生社会実現プロジェクト＜視覚を知る編＞ 講座と公演によるインクルーシブ事業	6月13日ほか	福井県立音楽堂
普-04	大人世代の日常を彩り豊かにするための鑑賞体験事業 「ステージできく」プレミアムコンサート　近藤 薫プロデュース リヴァラン弦楽四重奏団＋1(プラス・ワン) 福井公演	1月18日	福井県立音楽堂
普-05	ファミリーで愉しむパイプオルガン鑑賞・体験事業 連弾の妙技 ～The ORGAN～　オルガン：長田真実 & 大平健介	6月8日	福井県立音楽堂

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業		36	41	37
		公演事業	11	10	11
		（内、本助成対象事業本数）	0	8	0
		人材養成事業	13	13	9
		（内、本助成対象事業本数）	0	9	4
		普及啓発事業	8	11	11
		（内、本助成対象事業本数）	0	10	5
		共生社会事業			
		（内、本助成対象事業本数）			
		その他　内容：共催事業	4	7	6

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	242	248	244
	ホール名：大ホール　座席数：1456	119	124	106
	ホール名：小ホール　座席数：610	123	124	138
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数		19,737	21,209	25,191
		公演事業	7,943	8,296	10,422
		人材養成事業	2,491	2,684	3,265
		普及啓発事業	5,522	4,045	4,223
		共生社会事業			
		その他　内容：共催事業	3,781	6,184	7,281
	貸館事業入場者・参加者数		76,075	84,714	85,125
	その他　内容：チケット購入・受取りなど		16,594	16,429	16,956
	計		112,406	122,352	127,272
開館日数			308	306	307
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））			308	306	307
施設の利用日数			307	303	303
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）			99.7%	99.0%	98.7%

備考	

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してくださ

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	11	13	7,943		11					
	共催・提携公演（※2）	4	4	3,781		4					
	貸館公演	127	135	52,755		123	2				2
	計	142	152	64,479							
令和6年度	主催公演（※1）	10	10	8,296	1	9					
	共催・提携公演（※2）	7	8	6,184		6					1
	貸館公演	136	155	60,170		134	1				1
	計	153	173	74,650							
令和7年度	主催公演（※1）	11	14	10,422	1	10					
	共催・提携公演（※2）	6	6	7,281		6					
	貸館公演	126	139	60,801		123	2				1
	計	143	159	78,504							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

・公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
・入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
・有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人福井県文化振興事業団
施設名	福井県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）
内定額	6,250　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業			
人材養成事業	①オーディション応募者数 ②セミナー参加者の本番出演回数 ③公開オーディションおよび成果発表会の鑑賞者満足度 ④セミナー等参加者のリピート率	①15 人 ②３回 ③アンケートで高評価を得る（「満足」の回答が８０％以上） ④参加総数の３割	①17 人 ②５回 ③事業実施上のオペレーションの関係でともにアンケートを行わなかったが、公演後のホワイエでの聞き取りでは、総じて「良かった」「満足した」との評価であった。 ④参加総数の 44%
普及啓発事業	①鑑賞者数 ②上記①のうち、未就学児童の鑑賞者数 ③鑑賞者の満足度	①申請事業合計で 4,000 人 ②100 人 ③アンケート回答者の８０％以上が「満足」と回答	①申請事業合計で 3,602 人 ②156 人 ③アンケート回答者の８７％が「満足」と回答（「非常に満足」65.4%、「満足」21.6%）
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

成果報告書　　福井県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	

人材養成事業	
自己評価	①の実績は 17 名と目標を若干超える応募を得たが、長年この事業を行ってきた結果として応募者の認知度が定着して、両オーディションが求める人材のレベルと応募者の技量がマッチしてきたものと考えている。②の目標の達成は、本事業が演奏の上達のみを目指すのでなく、聴衆に音楽を届け共有する喜びを実感して学ぶという目的も持ち、その指導が生徒に届いているものと高く評価したい。④については、現在県内の学校に音楽専門の学科がない本県において、個人レッスンを補完する、またはこれに代わる機能を果たしているものとして参加者からも認識されていると評価できると考えている。

普及啓発事業	
自己評価	①が目標に届かなかった要因としては、出張音楽堂事業などの学校を対象とする事業は、どうしても学校行事との調整がつかず実施回数が伸びにくい点と応募のあった学校の規模により予定回数を行っても目標に届かない点がある。今年度は希望のあった学校全てで事業を行うことができ、この点は評価したいが、県の予算発表時期を念頭におきつつ、早い時期から学校に事業を提案するなど、事業の普及にさらに努めたい。②の目標達成は、劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業なども活用しながら未就学児対象の事業の普及を図ってきた成果と評価したい。また③については、これまで来場者アンケートなどに真摯に対応してきた結果と認識しており、さらなる向上を図るとともに来場者数の増加にも取り組んでいきたい。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
・海外在住アーティストの招聘人数	・５人	・15 人 (6/14「北欧の夏至祭」1 名 6/25「ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団」3 名 10/24「ピアノ・バトル」2 名 11/29「ケルティック・クリスマス」8 名 1/10「ニューイヤーコンサート 2026」1 名

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	目標を超える 17 人（５本）の海外アーティストによる公演を行うことができた。6/14 と 11/29 の公演ではホワイエにて「北欧の彩りマルシェ」「クリスマスマルシェ」と銘打ち共に北欧系の物品や食品の販売を行って普段当館にみえない方たちにも来館いただいて交流を図ったほか、6/14 の公演については県の国際交流協会の協力を得て、より多くの外国のお客さんをお迎えすることができた。これらのほか、海外の超一流の音楽に触れる機会の提供（6/25 公演）や、ショパン・コンクール・イヤーにちなんだ昨年のピアノシリーズ企画のひとつ（10/24 公演）、令和６年度のウィーン・フィル公演に続いてのウィーンに関連した公演（1/10）など、様々な企画で大いに国際交流を図ることができた。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・（文化拠点）地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・（地域連携）地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・（児童生徒への機会提供）次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
①レジデントアーティストを活用した事業に対する県民の満足度の高さ	①レジデントアーティスト活用事業鑑賞者の満足度（８割が満足と回答）	①86.7 が満足と回答 （「非常に満足」：67.3% 「満足」：19.4%）
②レジデントアーティストの活用事業数	②　前年度比の２割増	②前年度比の 26.8%増
③協働する機関および施設数	③申請事業合計で学校１０校、公共施設５箇所、公的機関５箇所	③申請事業合計で学校 14 校、公共施設３箇所、公的機関９箇所
④学校を対象とした事業実施数	④年間実施事業全体で 30 回	④年間実施事業合計で 34 回
⑤貸館利用者の満足度	⑤スタッフの応対等の貸館利用者の評価「大変良い・良い」が８割以上	⑤貸館利用者の 99%が「大変良い・良い」と評価（大変良い：72.7%、「良い」：26.3%）

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	越のルビーアーティストは当施設にゆかりのプロのアーティストとして認知度は高まっており、ファンも多い。①の結果はその表れと考えられ、より多くのアーティストがより高い評価を得られるよう、②の目標のように常に一定数の公演を続けていくことが大切であると考えている。③や④については、事業内容が第一ではあるが、特に学校は年間行事が定まる前に事業の提案を行う必要があるなどタイミングも重要であると認識している。県予算の公表時期とのタイミングがポイントとなるが、より多くの団体の参画が得られるよう、検討を進めたい。⑤については、高評価に甘んじることなく、併せて寄せられる要望や意見に真摯に応じていきたい。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
⑴障害のある人の鑑賞者数	①申請事業合計で２００人	①申請事業合計で 383 人
②若年層の事業参画数	②申請事業合計で４０人	②申請事業合計で 58 人
③アウトリーチ事業の実施数	③圏域内２０箇所以上	③圏域内 40 箇所
④インクルーシブ事業に参加した県民数	④計１００人	④計 179 人
⑤インクルーシブ事業に参加しての満足度	⑤アンケート回答者の８０％以上が「大変よかった」、「よかった」」と回答	⑤91.5% （「大変よかった」：76.6%、「よかった」：14.9%）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	まずは全ての実績値が目標を大きく上回って達成できたことを大いに評価したい。 当施設では、助成対象となっている事業のほかにも、令和６年度から重度の障がい児・者を招いた公演を行い、その運営方法について事前・事後にご意見をお聞きする事業を始めるなど、その本格的な取り組みは緒に就いたばかりと言える。今回の結果に甘んじることなく、障がいの有無や国籍、性別、年齢等に関わらず多くの人に楽しんでいただける音楽ホールを目指して取り組んでいきたい。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）	実績や現状把握から綿密に作成された予算計画のもと、さらなる確実な財源確保のため積極的な助成金や協賛金等の獲得に努めている。	綿密な広報計画と多様な広報手段のもと、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
目標(値)（※２）		
実績(値)		
団体の自己評価	限られた指定管理料、県からの受託費の効果的な支出に努めるとともに、協賛金の拡大、各種助成金の獲得に努めています。	券売や集客の拡大につながるより効果的な広報となるよう、公演等事業の内容や客層、時期などを勘案して、広報媒体のバランスを変える等行っています。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※１）	福井県公立文化施設連絡協議会の会長館を務めるなど、他館との協力体制をもとに効果的な事業運営を行う。	設置者と定例会を行い情報交換を行うとともに、設置者からの人材の派遣の受け入れ、また予算要求による財源確保を行っている。
目標(値)（※２）		
実績(値)		
団体の自己評価	県内施設との連携はもとより、他県のホール等と共同した公演を検討するなど、より効果的な事業展開を心掛けています。	県の担当課長も出席する定例会議を毎月開催するほか、人材の派遣を受けるなど良好な意思疎通を図っています。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	芸術監督を配置している。	経営実務者を配置している。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	引き続き芸術監督を配置しています。	引き続き経営実務者を配置しています。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	事業及び技術系専門スタッフを配置し、育成を行っている。	事業ごとに部署を設け、経験や専門性をもとに人材を配置している。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	引き続き事業及び技術系専門スタッフを配置するとともに育成も行っています。	経験や専門性をもとに人材を配置し、より効果的な事業運営に努めています。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	新規雇用において、新卒者を積極的に採用している。	積極的に女性の管理職配置及びリーダー職への登用を行っている。（現在リーダー職は全員女性）
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	新卒者を積極的に採用するとともに、中途採用者も含めて必要な人材の雇用に努めています。	引き続き積極的な女性の管理職配置およびリーダー職への登用を行っている。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	育児･介護等の両立支援制度の整備を行い、時短勤務の拡充を行うなど積極的な支援を行う。	情報セキュリティに関する制度を整備し、職員に対して周知徹底を行う。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	育児・介護等の両立支援制度の整備を行うとともに時短制度の拡充を行い、引き続き積極的に支援を行っている。	情報セキュリティに関する制度を整備し、職員に対して周知徹底を行っている。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメントに関する対応指針を策定し、研修を行う。	アーティスト及びスタッフと適正な契約書を交わしている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	ハラスメントに関する対応指針を策定したほか、理事長名でハラスメント防止宣言を策定し、研修も行っている。	アーティストおよびスタッフと適正な契約書を交わしている。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
助成対象の事業はもとより、そのほかの各種事業に対しても、アンケートなどで高い評価をいただいている。今後はこれに甘んじることなく当該アンケートで寄せられた希望や提案、日々の業務の中でいただく意見に真摯に向き合い、より高い満足をいただけるよう業務の改善に努めていきたい。 近年、ＳＮＳを活用した広報を拡大するなどして小さなお子さんとそのお父さん・お母さんの集客にも努めている。部活の地域展開が進む中、プレイヤー・オーディエンス両面での音楽人口の減少が危惧される中、こうした活動にも力を入れるなど、県内唯一の音楽専門ホールとして、インクルーシブな劇場の実現に尽力していきたい。

備考